



佐賀便機長労災事件 高裁公判（証人尋問）報告

『エアバス乗務で「連続する離着陸」と

「疲労」との関わりは大きい』

傍聴席に入りきれない参加者が交替で傍聴（傍聴者61名）

さる7月2日、東京高等裁判所809号法廷で全日空佐賀便機長の労災認定を巡る審理の大詰めとなる「同僚乗員に対する証人尋問」が行われました。「SIM検証」に続く乗員への尋問で、一審では検討されなかった事項を確認したことになります。今回の証人尋問は裁判所により一度却下されたものですが、事実上のSIM検証を受けて改めて裁判長が証人採用の判断をしたものです。

当日は雨にもかかわらず傍聴席に入りきれない傍聴者が集まりました。また公判前のビラまきには乗員組合法務部員、日乗連などの仲間が参加し500枚以上のビラを配布しました。取り組みに参加された方々に深く感謝します。

次回公判は、9月1日13時30分、次回の最終弁論は11月17日11時からとなりました。負けられない裁判です。引き続き傍聴参加等への協力を訴えます。各自でスケジュールを調整し参加をお願いします。

『シミュレーター検証を裏付ける乗員としての証言を実施』

原告側からの申請で証人に立った全日空乗員B7機長の和田さんは、エアバスでの経験を踏まえ、弁護士の質問に答える形で証言を行いました。その中で、裁判官が実際に「乗務」した検証フライト（2月26日）の約1週間前（18日）に行ったりハーサルでは着陸できずにゴーアラウンドをした点を踏まえ、着陸直前に大きな風の変化で着陸できるか出来ないかという困難な状況があったこと、またそうしたときに機長がどのような心理状況、緊張状況にあるのかについても証言しました。

『協定や法律の「乗務時間制限以内」であっても54歳の

機長には非常に厳しい勤務条件であった』

当該機長の勤務についても、和田証人は自身の体験から、非常に厳しいスケジュールを当該機長が乗務していたことを証言し、今、自分がそのような年齢になってみて、その厳しさを実体験から話すことが出来ると述べました。また航空法や労使協定の枠の中にあっても、当該機長の乗務したパターンは離着陸が多く、拘束時間も長い、強い疲れが残るスケジュールだったことなどを証言しました。

さらに、この労災事件が起きるまでの10年間で勤務時間制限が10時間から11時間へと延ばされるなどでエアバスの職場でも大きな影響があり働き方がきつくなったこと、当該機長が70時間を超える乗務をしていた実態についても詳しく述べました。



『地上勤務との違い - 「それは危険との隣り合わせ」

乗員にとって睡眠は時間だけでなく「質が重要」』

また和田証人は、一般の労働者と同じ基準で「働き過ぎ」を計れない事も述べました。地上勤務との大きな違いは「危険との隣り合わせ」であり「後に仕事を回せない」つらさがあること。睡眠についてもただ寝る時間を取るだけでは疲労は回復しないこと、睡眠は量だけでなく、その「質」が問題であることも証言しました。

『被告側代理人反対尋問「天候は悪くなかった」を強調』

被告側からは「当該機長は着陸前、滑走路のライトが見えたと言っている、滑走路の位置、の手がかりを得ていたのでは？」「名古屋の着陸時の空港の風は10KT程度だが、それはよくある風か？」など上空へと連続した大気の現象があるにも関わらずそれを部分的にとらえ、「悪天候ではなかった」との印象を狙う質問がありました。

また、勤務時間の延長を組合が合意した事についても質問がありました。和田証人は当時、組合内部では大きな論議になったことなどを証言しました。

さらに、当該機長がまわりの機長より飛行時間が多かったことについて、「自分で休日（OFF2）を入れなかったのか？」と質問し、あたかも当該機長が自分で進んでこのようなきつい勤務を選んだとの印象を与えるような質問を行いました。



<雨の中行われた 裁判所前のビラまき>

【次回以降の公判日程】

9月1日 13:30～ 東京高裁809号法廷 証拠整理
11月17日 11:00～11:30 東京高裁809号法廷 最終弁論

上記日程で公判が行われます。いよいよ日本で初めての「パイロットの労災裁判」の判決が早くても年末、遅くとも**年度内(3月末)**までには出されるでしょう。

日乗連としてこの労災裁判を全面的に支援してきていますが、この裁判の持つ意味と判決は今後の乗員の働き方（勤務条件）を大きく左右する事が容易に想像できます。

高裁での公判は地裁段階の事実調べを改めて行うなど、高裁裁判としては異例とも言える対応でしたが、我々としてやり残したことが無いか再度点検して、必ず労災認定の「勝利判決」を獲得できるよう最後まで皆さんの支援をお願いします。

次回以降の裁判傍聴もよろしくをお願いします。

以上